

①ブレシャスブルー【入着級】
○相沢師前走ってのプラス10キロ
は減った体が戻ってきたもの。
中間もキープできてきていたし、短
期放牧を挟んで動きも良く体調
面はまったく問題ない。東京の
高速馬場に変わつてどうかだが
再度好レースを期待したい。
②マイラブソディ【入着級】
○友道師前回も悪くなかった。
が、叩いて状態は右肩上がり。
いいころの姿に戻りつつある。

▼フレシャスブルーは全5勝も前走②着も時計のかかる芝。馬場がどうか。複穴なら粘り腰のミラアイトン。

▼ 7歳以上 [00246]
エアルマスは芝で3勝も、
ダート血統で重賞勝ちもダントン。
芝重賞で58キロも重い。
セダブリランティスは重賞①③
①⑦着。もうひと咲き。

▼ヒュミドールは上がり33秒4でハデに差し切った昨秋ノベンバーリーSが東京千八。伏兵。▼不振のヴェロックスは半信半疑も、立て直して期待はある。

▼**25歳馬** [21241] シュリは初重賞の京都金杯が着なら重賞で通用。ベストトライは近4勝の千六で、千八が鍵。**ザダル**は2~3走前が目を引く末脚。GIIIなら力は足りる。

▼ 調気配でも完全復活はまだ？
 フアルコニア・ヤシヤマルは
 まだ本格化前の印象も、勢い
 魅力。前者は前10年で勝ち馬
 4頭のディープ産駒。後者は
 3歳以降、東京(4200)。

ではなく、東京千八は魅力。アドマイヤビルゴは重賞(4)(10)⑨着だが、伸びしろある4歳馬。ボテンシャルは高い。マイラップソディの前走②着は相手が斤量8キロの8歳馬。夏

▼サトノフラッグは自身の上上がり最速が34秒5。GⅢなら立場は上だが、速い上がり勝負は向かず、好走に条件付く。

▼アルジヤンナの前走は馬群を削ぎすりを余す惜敗。器用

▼ 阪月賞 (右下は過去10年の成績)
③着 ガロアクリークは
重賞勝ちが千八。順調さを欠
くこので伏見三郎が建

